

# 同窓会新聞

国士館大学  
長野県同窓会長野県支部  
発行 国士館大学  
事務局長 佐々木正行  
金井哲雄  
〒389-1105  
長野市豊野町豊野 1905  
Tel. 026-257-2835



## 同窓会を楽しもう

工学部 S44 年卒 (佐久市)  
長野県支部会長 佐々木正行

今年はずか寒  
たり、温度差のは  
の住む佐久は標高  
730mです。桜  
が終わり、暑かっ  
げしい年です。私

が終わった5月7日頃、薄氷がはりました。何と48年ぶり、そうかと思ふと日中32度と真夏なみ。身体がつかいけません。又、5月11日、100万円を交換し、旅行に持っていきまし。円安の時のドルは金庫にしまつていました。その内に79円まで円高となり、つか円安になると心に思いつつと我慢をしてみました。元が取れる時期が来りました。早速交換して使える円にします。人生は良かった。私にいた工学部電気工学科(昭和40年)では国士館電気会と言う会があり、すでに35年になりました。私は3期生です。後輩は47期生です。44才も離れ親子以上で話しはあまり分かりませんが、何となく話している自分の子供の様にかわいく楽しいものです。世田谷の本校に行つたらとても立派になり思ひ出に残っているのは大講堂と僅かな各学部ビルの外側のみで、90周年でさら



## 国士館大学学長挨拶

国士館大学学長 三浦 信行

爽やかな青空の  
広がる新緑の季節  
を迎え、国士館大  
学同窓会長野支部  
のみなさまにおか  
れましては益々ご  
健勝のこととお喜  
び申し上げます。

組んでまいる決意  
会で活躍される卒  
業生の意気軒高な  
報告には、いつも  
誇らしくも勇気づ  
けられる思いを  
強くしています。また、長野県  
支部が主催あるいは後援されます各  
種大会、大学の合  
宿活動等にお招き  
いただき、同窓の  
会ならではの研究  
会を光景です。遠  
路からも嬉々とし  
て集い来る同窓の  
みなさんの懐かし  
い笑顔、活発に社  
会をかりましてあつ  
く御礼申し上げます。

責任の重さに身の  
引き締まる思いで  
すが、我が母校・  
国士館大学のさら  
なる発展のために  
全力で職務に取り  
かかっています。

1917年、東京・麻布の地に人材育成の教育道場を創立したことに由来します。吉田松陰の精神を範とする創立者らは1919年、松蔭神社に隣接する現在の世田谷に拠点を移しました。爾来、いまや十四万にも及ぶ卒業生を社会に送り出す総合大学へと大きく発展してきております。これから、跡地に、複合施設「メイプル・セントチャー・ホール」が開設しました。「心と体の健康」をテーマとした体育施設と文化施設が融合した新しい学舎で、学生諸君には心身ともに豊かな時間を過ごしてほしいと期待しています。混迷の様相を深める今日、大学教育を取り巻く環境は一段とその厳しさを増しています。受験世代人口は減少しますが、淘汰の波は、生き残りをかけた大学改革を要請して活力みなぎる若き人材群を、吉田松陰に有縁の地よりの、日本のみならずアジアや世界へと輩出してまいります。また、社会の変化に適切に対応できる魅力溢れる学部並びに大学院教育を構築するため、既存の学部等の改革と教育・研究環境の充実を強力に進め、本学の将来構想の具体化に向けた改革プログラムを多角的に実行する取り組みをすでに開始しております。わが国士館大学の輝かしき歴史と伝統を堅持しつ





憲法記念日に思う  
政経学部 S49 年卒 (駒ヶ根市)  
長野県議会議員 佐々木祥二

ここにきて、憲法改正の話が高まってきました。七月の参議院選挙では、改正の是非が大きな争点となりそうです。そこで私達も、もう一度現在の日本国憲法制定までの歴史的背景と制定までの課程を勉強し直して今こそ日本国民が自主的に日本人の進むべき大道

は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのである。平和を受する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念しては他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものである。この法



同窓会一步前へ  
体育学部 S45 年卒 (長野市)  
長野県支部理事長 中澤 次生

今年の春は例年ない寒波が襲来し、農作物を中心に被害が伝えられておりますが同窓会会員の皆様方には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。先日、同窓会新聞をなつかしく拝見致しました。一面は平成二十五年入学式の様子、新入生 3361 人

私の席は二回ギャラリー奥で、会場はフロアーも二階も満席で式の様子も遠くよく見えませんでした。又、自分の周りの学友は未だ名前も分からず、不安が重くのし掛かっていました。あれから四十七年が過ぎましたが入学式のことには昨日のこのように蘇ってきます。正しく「光陰矢の如し」が実感です。さて、私達大学あたり、新入生諸君に負けず、心あらたに夢と希望を見えませんでした。今、三浦学長は「精神的自立を」促しています。この二つの課題は、今も昔も変わらぬ難問ですが、私達は、日々の親や友達、多くの人間と接し、注意されたり、時には争いの中、自分自身が気付かされた事がある。皆一度は読まれた事がある。私は何度も読んで意味が



私生活の  
体育学部 S46 年卒  
(長野市) 中村久治

私は大学(体育学部)を昭和四十六年に卒業し、民間会社に就職、三十七年勤め退社、現在六十四才、年金生活をしております。退社後五年たち、自家用の米と野菜を栽培し、二人の孫に恵まれ、平穩に暮らしています。趣味については春の山菜、秋の茸取り等で年間約二十日ほど山へ入ります。その他に富貴蘭の栽培等を行っております。春の山菜は、コゴミに始まり、タラの芽、ワラビ、ミヤマイラクサ(アイコ・エラ)、根曲り竹等約十種類くらい採っており、特にイヌドーナ、通称ウドブキと呼ばれる山菜はその名の通り、ウドとフキの風味がし、おひたしで食すると格別です。秋の茸はハナイグチ(じこぼう、東信でははりこぼ)から始まり晩秋のシモフリシメジ、ナメコまで約十五種類ぐ

わがかりづらい様に感じます。国の最高法規の憲法であれば、もう少し日本文の格調の高さをわい立派な向上進取に満ちて、新憲法を制定することが必要だと存じますが皆様如何でしょうか。「国民による国民の為の国民の憲法」を今真剣に考える時が来たと思います。平成二十五年の憲法記念の日。感謝九拜。



# 同窓会長野県支部の WEB サイトの閲覧方法と企業リンクのお願い

政経学部 H15 年卒 (長野市) 西澤 大作

長野県支部同窓生の皆様、こんにちは。

平成 22 年から事務局としてお世話になっております。現在は、長野市内で広告・デザインの制作会社に勤務しております。

さて昨年より国土館大学同窓会長野県支部の WEB サイト (ホームページ) を開設しております。※検索画面で『国土館 長野』または、<http://kokushikan-nagano.com/> にて閲覧出来ます。

WEB サイトの内容ですが、年に何度か行われております総会情報や、駅伝部の情報をアップしております。また今後は、長野県出身の在学生、また卒業生の活躍などもアップしていければと考えております。また今回のサイト開設の一番の目的は、同窓会をより身近に感じていただき、同窓生の皆様方に是非、総会に足を運んでいただきたいと思い、WEB サイトを開設いたしました。

今や情報の伝達やコミュニケーションはデジタルが主流の時代です。国土館新聞もとても大切な同窓生のコミュニケーションツールではございますが、今回の WEB サイトを活かして (デジタルを通じて)、さらに皆様と情報共有ができ、会場でお顔を合わせて (ここはアナログになります) コミュニケーションを計っていければ幸いです。

またホームページ内の『リンク』には、同窓生の皆様の企業や団体などのご紹介コーナーの広告掲載ページ (年 /1,000 円) を設けておりますので、企業 PR などにご活用ください。今後とも、宜しくお願い致します。

# 平成 25 年度 長野県支部総会開催について

平成 25 年度の定例支部総会は、25 年 6 月 30 日 (日) に長野市岡田町 131 - 4 のホテル信濃路 (026-226-5212) で午後 1 時から総会及び懇親会 (会費 5 千円) を開催します。

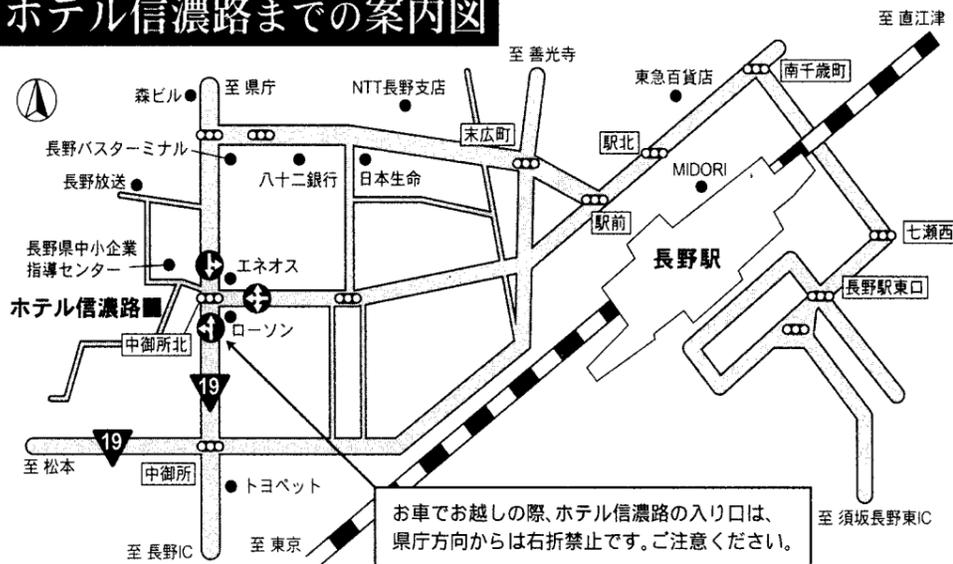
当日は、大学から三浦信行学長 (24 年 12 月就任) と同窓会本部から岡利幸会長が出席する予定です。

ところで、同窓会に一人で参加することは自分の経験から言ってかなり勇気が必要ですが、同期の親しい仲間を誘って集団で参加をすれば、県内の色々な職業の同窓生がいて、結構楽しい異業種交流会になります。

なお、現在長野県議会議員として政経学部 49 年卒業の佐々木祥二議員 (駒ヶ根市選出) と山岸喜昭議員 (小諸市選出) のお二人が活躍されています。

**出欠の連絡は、同封のハガキで 6 月 22 日までお願いします**

## ホテル信濃路までの案内図



お車でお越しの際、ホテル信濃路の入り口は、県庁方向からは右折禁止です。ご注意ください。

ホテル 信濃路 HOTEL SHINANOJI 〒380-0936 長野市岡田町131の4 TEL (026) 226-5212 FAX (026) 226-5168 <http://www.hotel-shinanoji.com>

## 同窓会事務局から

今年の天候は不順で、農業 (リンゴ栽培と米作が主) をしている自分にとってはこれからの天候が気になる所です。5 月の連休中はやつと田植えの準備ができ、6 月に田植えをする予定です。これからは、リンゴの摘果などで多忙な季節になります。退職してのんびりと与生を送ろうとしていますが、地元区役員や各種団体の役員をやる羽目になり結構大変な年回りになってしまいました。

ところで、同窓会の事務局を前任の小田先生から引き継いで 10 年以上経過をしていますが、私が引き継いだところ、同窓会の活動の活性化を図るために県単独の新聞を発行したらどうか、総会と同時に有名人の講演会を開催したら総会に人が多く集まるのではないかと意見を多く聞かされたので、できるところで実行してきました。

しかし、会の活性化はできず現状のとおりです。同窓会本部の把握している住所シールを使用して 1500 名に総会案内と新聞を送りしています。出席の報告は多い年で 250 枚ほどです。毎年 1000 通以上の葉書代が無駄になっています。同窓会は卒業時又は入学時に会費を支払って永久会員となつていますので無駄になることを承知の上で迷惑もお送りしていません。今年も、受取人支払いにしましたので切手を貼らずに返送をお願いします。

また、新聞についてですが、多用中のことは承知していますが中々原稿を書いたくないのが現状です。昨年からはホームページを作り公開していますが、アナログの新聞ができないので、ホームページにも掲載できません。

私も、年金の満額受領の年になり、体力・気力・気魄も薄れてきました。国土館大学を卒業した皆様のご協力をお願いします。全国でも県支部独自で新聞を発行しているのは長野県だけです。で終了にはしたくないと思つてはいます。24 年 7 月 1 日に開催した総会の写真を掲載します。

最後に、この新聞の発行とともに会費の納入通知書を同封しますので、会費納入も宜しくお願いします。